

県信用農業協同組合連合会
(JA岐阜信連)の職員

坂折棚田で収穫の喜び 恵那市

JA岐阜信連職員 家族と稲刈り体験

とその家族計15人が、恵那市中野方町の坂折棚田で稲刈りを体験した。
持続可能な開発目標(SDGs)の取り組みの一端として、2022年度から棚田オーナー制度に参画。NPO法人恵那市坂折棚田保存会の指導を受けながら、300平方メートルの田んぼで5月に田植え、6月に草取りを行って



刈り取った稲を束ねる参加者
＝恵那市中野方町、坂折棚田

きた。
食と農への理解促進を目的に、職員向けの親子イベントとして開催。参加者は稲刈りや稲架掛けをし、収穫を喜んでいた。長谷川大晃さん(27)は「地域農業に携わりながら貢献できる。次世代になぐ一助に少しでもなればうれしい」と話した。
(武藤直子)